

長を通じて職員課長に申込みをお願いします。複数の応募があった場合は、希望者との面談及び所属課長等の意見を参考に選考します。庁議終了後、通知文をガルーン掲示板にて周知するため、併せて職員への周知をお願いします。

市長 行政では学ぶことのできない業務に携わることができる機会のため、積極的に申し込んでください。続いて、報告事項3「令和4年度狛江市プレミアム付商品券（こまちケ）2次販売について」を報告してください。

部長 まず1次販売の販売結果についてですが、プレミアム分を除く額に基づくと、販売予定額2億5千万円に対し、1万154人から2億2,867万円の申込みがあり、そのうち9,370人に2億1,094万円分を購入いただきました。未発行となっている3,906万円分について、2次販売分として先着で販売を行います。販売期間は、12月11日午前10時からとし、なくなり次第終了とします。販売方法は、1次販売時と同様にスマートフォンアプリ「chiica」を活用し、現金払又はクレジットカードのオンライン決済の2通りで販売します。販売内容については、1,000円単位での販売とし、購入額の30%をプレミアム分として加えた額を発行します。

なお、発行額の約60%は全ての加盟店で使える共通券、発行額の約40%は大型店以外の加盟店で使える限定券のセット販売です。1人当たりの販売上限額は、2万5千円とし、仮に全員が満額購入した場合、1,562人分の販売となります。この上限額は、1次販売時の購入額にかかわらず、2次販売において一律とします。市民への周知は、広報こまえ12月1日号への掲載のほか、SNS等にて行います。

市長 続いて、報告事項4「令和3年度狛江市におけるいじめ・不登校等の調査結果について」を報告してください。

部長 本調査は、児童・生徒の問題行動や不登校等について、教育現場における生活指導上の取組の充実とともに、未然防止、早期発見・早期対応につなげていくことを目的としています。暴力行為については、令和2年度は小学校では発生なし、中学校で7件の報告がありました。令和3年度は、小学校4件、中学校10件の報告となっています。小・中学校合計14件のうち、生徒間暴力13件、対教師暴力1件でした。生徒間暴力については、ふざけやからかい、口論等の些細なきっかけを原因として発生しています。対教師暴力については、八つ当たりが原因でした。いじめについては、小学校の認知件数は平成30年度をピークに減少傾向でしたが、令和2年度より14件増え29件となりました。学年別では、中学年以降の発生がほとんどで、3年生で10件、4年生で6件と、中学年の認知件数が全体の半数以上占めています。中学校は、令和2年度から2件減り、11件の認知件数となり、学年別では、1

年生で7件と、全体の半数以上を占めています。いじめの様態としては、小・中学校ともに、冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われるが最も多い結果となっています。暴力行為やいじめへの対応として、Q U等の結果を効果的に活用しながら、組織的に学級経営等の安定化を図ることが必要です。認知が難しいと言われるSNS等によるいじめも含めて、適切に認知して早期解決を図るため未然防止に向けた家庭や地域との連携による体制づくりも大切となります。

最後に、不登校についてです。不登校の出現率は、小学校では平成29年度から微増傾向、中学校では平成30年度をピークに減少傾向となっていました。令和3年度は小学校は微増のまま、中学校は増加しています。また、学校復帰率については、小学校では約12%と令和2年度より増加しましたが、中学校では約9%と減少しています。不登校の要因として、小・中学校ともに「無気力・不安」が約3割を占めています。不登校の対応は、文部科学省が令和元年10月に示したとおり、学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて社会的な自立を目指すための支援が求められています。個別最適化のツールとしてタブレット端末等を活用した学習支援も推進するよう通知し、学校と子どものつながりを大切にするよう指導しています。また、関係機関との連携を一層重視する必要があると考えています。本件については、総務文教常任委員会協議会でも報告します。

- 副市長 不登校について「関係機関との連携を一層重視する必要がある」とのことですが、例えばどのような機関と連携を想定しているですか。
- 部長 フリースクールがなくなったため、サードプレイス、市内の居場所づくりについては子ども家庭部と連携して、研究しています。
- 教育長 市内の受皿だけではなかなか難しいと考えられるため、市外機関との連携も研究しています。
- 市長 中学1年生のいじめ認知件数が7件と報告されていますが、進学における課題があるのでしょうか。
- 教育長 学校は詳細を把握して対応していますが、いわゆる中一ギャップといった影響が推察されます。小学校から人間関係が影響する場合と新たに生じる人間関係から発生していることが想定されるため、学校と協力していじめをなくすよう努めたいと考えています。
- 市長 続いて、報告事項5「令和4年度『狛江市学習状況調査』の結果及び『全国学力・学習状況調査』の結果について」を報告してください。
- 部長 本報告は、4月12日に実施した令和4年度狛江市学習状況調査（以下、「NRT」という）の結果と、4月19日に実施した令和4年度全国学力・

学習状況調査の結果を領域別に比較したものとなります。まず、小学校について報告します。小学校のNRTは、5年生・6年生が国語及び算数で、全国学力・学習状況調査は、6年生が国語、算数及び理科で行っています。NRTの結果と、6年生の全国学力・学習状況調査の国語及び算数の結果について報告します。NRTの結果は、5年生・6年生ともに、国語・算数、全ての領域において正答率が全国平均より上回っています。6年生の全国学力・学習状況調査の結果です。国語・算数ともに、全体の正答率は全国・東京都を上回っています。国語の「話すこと・聞くこと」の領域と、算数の「図形」及び「変化と関係」の領域が東京都の平均を下回りました。6年生のNRTと全国学力・学習状況調査の結果からの考察です。国語では、記述式の正答率が低くなっていました。記述式の正答率を高めるため、国語科を中心に「書くこと」の力を教科等横断的に育成していく必要があります。算数では、応用問題や読解力が求められる問題で正答率が低く、「読むこと」の力を教科等横断的に育成していく必要があります。次に中学校です。中学校については、NRTが全学年で国語、数学及び英語で調査、全国学力・学習状況調査は、3年生が国語、数学及び理科で実施しています。今回は2年生のNRTの結果と、3年生のNRTと全国学力・学習状況調査の結果について報告します。2年生のNRTの結果ですが、数学の「数と式」の領域が全国平均より下回りましたが、その他は上回っているか、同ポイントとなっています。次に、3年生のNRTの結果です。数学の「データの活用」の領域以外は全国平均を上回っています。3年生の全国学力・学習状況調査の結果です。国語の全体の正答率としては、全国平均より0.3%上回りましたが、東京都平均より0.4%下回りました。数学の全体の正答率としては、全国平均より4.6%、東京都平均より2.0%上回りました。こちらも、NRTの結果同様に「データの活用」の領域が東京都平均より2.0%下回っています。3年生のNRTと全国学力・学習状況調査の結果からの考察です。小学校同様に、国語・数学ともに記述式の正答率が低い傾向があるため、国語科を中心に「書くこと」の力を教科等横断的に育成していく必要があります。今回の結果から、「書く力」、「文書を読み取る力」の育成が必要なることが明らかになりました。この結果を基に、今後の授業改善につなげていく必要があると考えています。各学校に対して、調査結果の分析・検証の結果を踏まえ、授業改善を計画的に推進するよう指導・助言していきます。

なお、中学校で実施したNRTの英語については、全ての学年、全ての領域で全国を上回っています。また、小学校・中学校ともに、全国学力調査では理科を実施しており、中学校の平均正答率は東京都と同率でしたが、全国を上回り、小学校は、東京都及び全国ともに上回っています。本件について

は、総務文教常任委員会協議会でも報告します。

市 長 その他ありますか。

部 長 こまえ応援寄附金（ふるさと納税）ポータルサイト「楽天ふるさと納税」の開設についてです。こまえ応援寄附金寄附者の利便性向上と狛江市の魅力発信拡充のため、現在のふるさとチョイスに加えて、新たに楽天ふるさと納税を開設し、12月7日より寄附の受付を開始します。楽天ふるさと納税の特徴は、楽天会員以外の方でも通常の寄附サービスを利用可能であるほか、楽天会員であれば、楽天IDを使用して、楽天市場の買物と同じ手順で寄附をすることができ、楽天ふるさと納税での寄附申込みも通常の買物と同様、利用金額に応じたポイント付与の対象にもなり、100円につき1ポイント付与されます。

 なお、返礼品については、一部を除きふるさとチョイスと同様となる予定ですが、利用開始日の12月7日時点において、全ての商品の掲載が間に合わないことから、まず令和4年度の出荷実績等を考慮した5～7品程度の返礼品を掲載し、順次該当する全ての返礼品を掲載していく予定です。

市 長 ふるさと納税返礼品については、価値を生み出すことが重要になるため、協定先との連携等を踏まえ、よりよい返礼品となるよう検討してください。

市 長 他にありますか。

教育長 公立中学校3年生を対象に11月27日に行われた英語スピーキングテストですが、本市対象生徒の約95%が受験しました。当日6名が受験できませんでしたが、再度受験の機会が設けられる予定です。

市 長 他にありますか。

部 長 小学生環境サミット発表会についてです。小学生環境サミットは夏から継続実施していましたが、11月27日に発表会を実施し、参加者の小学校4・5年生の希望者と各小学校の校長及び保護者に参加いただきました。小菅村での間伐体験やその木を活用した一輪挿し作成、現地での水質検査と下流となる狛江市との水質比較等を行いました。参加した人数は少ない事業でしたが、大変良い学びの機会となったため、参加していない小学生向けにも本取組を周知したいと考えています。

市 長 学校生活ではできないことや学校で学んだことを基に研究する機会となったと思います。本事業に限らず事業の周知方法を工夫し、狛江の魅力を積極的に発信できるよう心掛けてください。

 次に、審議事項1「令和4年狛江市議会第4回定例会一般質問対応について」、2番松崎淑子議員です。

部 長 「1 子育て・子育てを支えるために」は、日曜日の保育や子どもショートステイの対象年齢に関する質問があります。

部 長 また、給食の牛乳に関する質問があります。

部 長 「2 プラスチックごみ資源化の流れについて」は、収集後の流れや市民説明会での意見に関する質問があります。

部 長 「3 特色ある公園づくり」は、公園利用に関するアンケートに関する質問があります。

部 長 また、和泉多摩川緑地都立公園化に関する質問があります。

市 長 次に7番吉野芳子議員です。

部 長 「1 共生できる超高齢社会をめざして」は、高齢者の健康づくりや終活、企業が作る認知症対応マニュアル、リフィル処方箋に関する質問があります。

部 長 「2 市民が安心して快適に暮らすために」は、モビリティ環境や交通安全、マンションの老朽化に関する質問があります。

部 長 また、脱炭素化を踏まえた住宅改修に関する質問があります。

市 長 次に5番三宅まこと議員です。

部 長 「1 公有地の利活用、公共空間を市民に開放していく働き」は、市民ひろばリノベーションに関する質問があります。

部 長 ほこみち社会実験の検証やまちづくり会社に関する質問があります。

部 長 弁財天池特別緑地保全地区の活用に関する質問があります。

市 長 次に6番辻村ともこ議員です。

部 長 「1 歯科保健衛生推進の進捗と今後」は、歯科保健衛生事業の推進状況や休日診療所のレントゲンのデジタル化、歯科保健条例に関する質問があります。

部 長 また、学校給食後の歯磨き習慣に関する質問があります。

部 長 「2 地域少子化対策重点推進交付金の活用状況と今後について」は、少子化に関する交付金活用状況に関する質問があります。

部 長 「3 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が子供に与える影響対策について」は、マスク着用が子どもに与える影響に関する質問があります。

部 長 また、学校における子どものマスク着用による影響に関する質問があります。

部 長 また、医療面における影響や子どものワクチン接種について質問があります。

市 長 次に1番平井里美議員です。

部 長 「1 狛江市が目指す市民参加と市民協働」は、条例改正の経緯や改正内容に関する質問があります。

部 長 「2 野川地域の困りごと」は、買物難民対策やまちづくり協議会に関する質問があります。

部 長 また、AED設置や災害時の支援物資配給に関する質問があります。

市 長 次に8番山田みちこ議員です。

部 長 「1 部活動の地域移行」は、部活動のガイドラインや教員の働き方改革に関する質問があります。

部 長 「2 安心安全について」は、駒井公園（仮称）や水道道路拡幅工事に関する質問があります。

部 長 また、防災ラジオに関する質問があります。

部 長 「3 住みやすいまち狛江」は、ゼロカーボンシティに向けた取組に関する質問があります。

市 長 次に9番しの浩司議員です。

部 長 「1 安心安全について」は、狛江市総合防災訓練や避難所運営協議会に関する質問があります。

部 長 「2 市内環境美化について」は、プラスチック類ごみ分別収集の実施方法や市民説明会に関する質問があります。

部 長 また、屋外広告物に関する質問があります。

市 長 次に10番栗山たけし議員です。

部 長 「1 安心して安全なまちづくりのために」は、Jアラート発令時の対応に関する質問があります。

部 長 また、小中学校でのJアラート訓練内容に関する質問があります。

部 長 また、道路工事の安全対策や植樹帯に対する補助制度、排ガス対策、空洞調査に関する質問があります。

市 長 次に19番太田久美子議員です。

部 長 「1 運動を通じた市民の健康長寿推進について」は、運動・スポーツ習慣化促進事業や運動による健康づくりに関する質問があります。

部 長 「2 多摩川住宅再生に向けて」は、建替えの現状や仮住居、片付け支援に関する質問があります。

部 長 「3 新型コロナウイルス感染症対策」は、新型コロナウイルス感染症の対応やワクチン接種、インフルエンザとの同時流行等に関する質問があります。

市 長 次に21番石井功議員です。

部 長 「1 まちづくり投資に対するリターン」は、仙川のまちづくりやほこみち社会実験、小田急線立体化に関する質問があります。

部 長 「2 市役所のキャッシュレス化とペーパーレス化とDX」は、手続のキャッシュレス化や証明書等のペーパーレス化に関する質問があります。

市 長 次に20番三角たけひさ議員です。

部 長 「1 岩戸北三・四丁目周辺地区のまちづくりについて」は、まちづくり

の現状や住民要望に関する質問があります。

部 長 「2 狛江の魅力を作って発信」は、スケートパークやストリートサッカーに関する質問があります。

部 長 また、小菅村での2拠点生活に関する質問があります。

市 長 次に12番宮坂良子議員です。

部 長 「1 利用抑制，生活を壊す介護保険改悪はストップを」は、総合事業の状況や厚生労働省審議会、介護保険利用料の軽減に関する質問があります。

部 長 「2 子育て世帯支援～学校給食費無償化へ」は、学校給食無償化に関する質問があります。

部 長 「3 市役所職員の働き方について」は、会計年度任用職員の現状や正規職員の増員に関する質問があります。

市 長 次に13番西村あつ子議員です。

部 長 「1 市民生活支援について」は、これまでの支援に対する評価や今後の支援策に関する質問があります。

部 長 「2 教育環境の整備について」は、保護者負担及び児童生徒負担の軽減に関する質問があります。

部 長 「3 市長の政治姿勢について」は、市政・政治姿勢に関する質問があります。

市 長 次に14番鈴木えつお議員です。

部 長 「1 新型コロナウイルス感染症対策について」は、第7波・第8波の状況に関する質問があります。

部 長 「2 市民センター改修について」は、9月以降の経過や市民参加と市民協働の推進に関する基本条例に関する質問があります。

部 長 「3 教育環境の充実について」は、不登校への支援に関する質問があります。

市 長 次に11番岡村しん議員です。

部 長 「1 市民参加と市民協働の推進に関する基本条例について」は、市民説明会や課題に関する質問があります。

部 長 「2 狛江のまちづくりについて」は、岩戸北三・四丁目地区計画や防火地域指定、交通不便地域の解消に関する質問があります。

部 長 「3 市民要望について」は、帯状疱疹ワクチンに関する質問があります。

部 長 また、プラスチックごみの回収に関する質問があります。

部 長 また、児童館の日曜開放に関する質問があります。

市 長 次に15番小野寺克己議員です。

部 長 「1 災害に強いまちづくりの推進について」は、Wi-Fi環境の推進やタイムライン防災に関する質問があります。

部 長 「2 ウォーキングで健康寿命の延伸を」は、高齢者の健康増進に関する質問があります。

市 長 次に18番佐々木貴史議員です。

部 長 「1 安全・安心なまちづくりについて」は、過去の災害における市の対応や国及び東京都との連携に関する質問があります。

部 長 「2 市民要望の実現に向けて」は、多摩川土手の安全対策や屋根の修理業者に関する質問があります。

部 長 「3 少子高齢社会における保険事業について」は、保険事業の現状や今後の取組に関する質問があります。

市 長 次に16番石川和広議員です。

部 長 「1 健康・福祉施策の充実に向けて」は、ケアラー支援等に関する質問があります。

部 長 「2 市のシェアサイクル事業について」は、シェアサイクル事業の位置付けや自転車用ヘルメット助成制度に関する質問があります。

市 長 次に17番山田幸子議員です。

部 長 「1 ～ 狛江の子ども・子育てを応援～安心して子どもを産み育てられるまちを目指して」は、伴走型支援等の切れ目のない支援に関する質問があります。

部 長 また、出産祝い金の支給や子どもの医療費助成に関する質問があります。

部 長 また、インクルーシブ公園や都市公園の環境整備に関する質問があります。

市 長 次に3番高木さところ議員です。

部 長 「1 これからの学校教育」は、マスク着用や黙食、都立高校入試での英語スピーキングテストに関する質問があります。

部 長 「2 循環型社会を想定するプラスチックゴミ削減の施策を検討するために～ プラスチックゴミ分別回収の市民課題と効果について」は、使い捨てプラスチック削減に関する質問があります。

部 長 「3 コロナ後遺症とワクチン後遺症の実態と対応」は、乳幼児ワクチン接種の実態や対応に関する質問があります。

市 長 次に4番加藤功一議員です。

部 長 「1 オープンデータの利活用による行政の効率化・透明性向上、市民参加・地域活性化について」は、オープンデータの利活用の現状等に関する質問があります。

部 長 「2 小中学校の学校生活における経費の保護者負担の軽減について」は、保護者負担に関する質問があります。

部 長 「3 狛江市の生活困窮者自立支援事業について」は、自立相談支援事業や住居確保給付金支給事業に関する質問があります。

市 長 他になければ、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、12月7日
午前9時00分から開催します。